

ウッディチキン／静岡例会

『例会レポート 142』

日 程	2019年7月3日(水)
会 場	株式会社ミツイコーポレーション 本社 静岡市葵区千代田6丁目16-2
参加者数	約110名+韓国の方43名(内県外名)
講演会内容	受付 18:30～ 講演時間 19:00～21:00 近況報告 伊藤 豊代表 講演テーマ おもてなし「誇り」となる会社のつくり方 講師 株式会社 都田建設 代表取締役 蓬台 浩明氏
親睦会	21:30～ 岡むら うさく



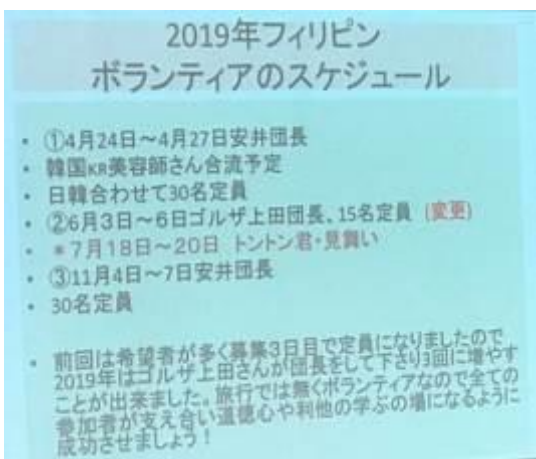
ウッディキッチン事務局

文章・写真提供／向井 健介

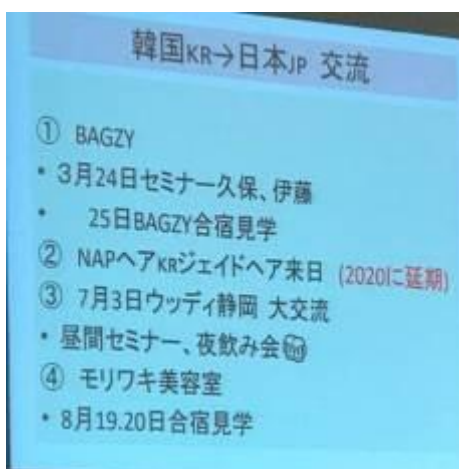
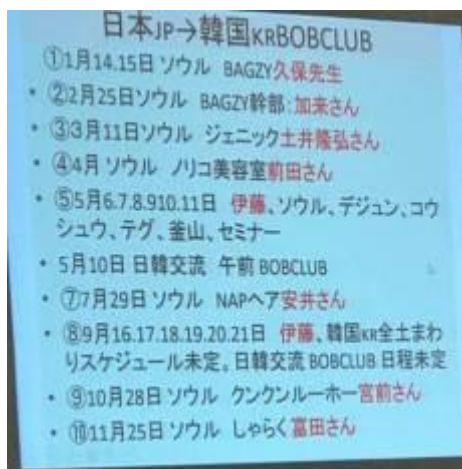
天候が不安定でパラパラ雨が降ったりやんだり・・・
 久しぶりに静岡駅で開催！ 確か5年以上ぶりかな？
 今年は韓国BOBクラブとのコラボセミナーでした。
 韓国の方43名で合計150名の仲間が集まりました！

伊藤代表挨拶(近況報告)

・フィリピンボランティアの動画&報告(こしは、計4回行くことになりました。)
 皆さんの募金でマクマック君手術成功できました！これで10名ぐらいの子供たちを救うことができました。
 トントン君とミデル君に某紙にメッセージを書いて今月末に伊藤さんがフィリピンに行くので届けます！



・韓国との交流(こしで5年目に入りました。)



静岡支部活動報告

アンリアル 飯田桃太郎さん

ヘアヒーリングサラ 神田あゆみさん

2名の方に課題図書「誇りとなる会社」都田建設の蓬台さんの本を読んで発表してもらいました。



講演テーマ 「おもてなし「誇り」となる会社のつくり方」

講師 株式会社 都田建設

代表取締役 蓬台 浩明氏



山内さんとは知り合って 9 年になります。

おもてなしについて

自分が困っているときに友人に相談した時

1 人の人は、「自分にできることがあったら言ってね」

もう一人の人は、理由を聞かずに「何でもやるよ」と言ってくれる。

そんな後者のような、損得勘定なしで行動できる人に自分はなりたい。

お客様に対してもそんなおもてなしが出来たらすごいおもてなしになる。

現在は、注文住宅の会社だけど都田駅周辺に 17 店舗いろんな店舗があります。

色んな過去があって今の形に少しずつですが歩んできました。

1999 年今から 20 年前に入社しました。当時は社員 3 名。

ハローワークからたどり着いた会社。

現場監督として入社しましたが、現場の仕事が少なく営業の仕事が中心でした。

以前は、大手で営業の仕事をしていたので仕方なくといった気持ちでやっていました。

夢は、海外で見た街並みだった・・・それをいつか日本のどこかで作りたい・・・と

建築のデザイン、街づくり、おもてなし心の底からあふれるやさしさ。

そんなことが詰まった都田という街から発信したい。

2011 年に大きな地震があった。

昔から建築業界は損得勘定がベースにあったので何をきれいごとを並べているの・・・と思われていた。

本社は浜松の都田。社員 70 名と職人が 36 名

業務内容は、売り上げの 7 割が注文住宅でその他は、雑貨店、家具販売、レストラン、カフェなどライフスタイルを提案していく。

棟梁の育成学校も運営している。

マイスター検定(ライフスタイル)

ライフスタイル＝文化

新しい形を発信するために都田という街をお借りしている。

街で働くスタッフは、一つ一つのストーリーを語る事ができる。

商品のすべては自分たちの価値観に合ったものを取り入れている。だからこそ語れる・・・

私が入社した時はまだ創業3年目だった。創業者は大工で、日本一の家づくりをしようという思いを大切にしていたし、すごい技術力だった。

2004年ぐらいは、業績も順調で調子に乗っていた時期だった。
技術があれば、どんどん売れていく・・・

たまたまお客様の家に招かれたときに大きな気づきを得ました。
「都田建設さんは、家づくりは最高ですが周りには紹介できない」・・・と言われた。
なぜか？

注文したお家が完成するまでの過程が楽しくなかったし、現場に来られる方のマナーが悪かった。
例えば・・・質問した時の顔が嫌な顔してたり・・・

大きな気づきになった。
一つの家を完成させるのに約150名の関係者が出入りします。
このままでは、いずれ大きな壁に突き当たる。
完成した時にお客様が涙を流して感動する。そんな会社にしようと思断しました。

2007年、諦めかけていた時
もう一度夢に対して何をやればいいのか考えました。
そして未来予想図を一つの絵にして誰が見てもわかるようにワクワクするようにリスタートしました。
なかなかうまくいかなかった3年間があったからこそ、諦めない気持ちや工夫が生まれた気がします。

6年ぐらい経過した2013年ぐらいにいい形になってきました。
絵に描いたように、都田の街にこだわりのショップを出して人が集まるようになってきました。
その時周りの人たちに、最近いろいろ手を出しすぎて大丈夫？と心配されたぐらいです。

そんなことがあり、やっぱり都田建設はライフスタイルの提案を追求していくことが大切だと確信しました。
デザインや家具やキッチンではなく・・・ライフスタイルをデザインしていくこと・・・
どんどん研ぎ澄まされていきました。全社員一人一人がキラキラしていきました。
時間がかかればかかるだけ理念は研ぎ澄まされていきました。

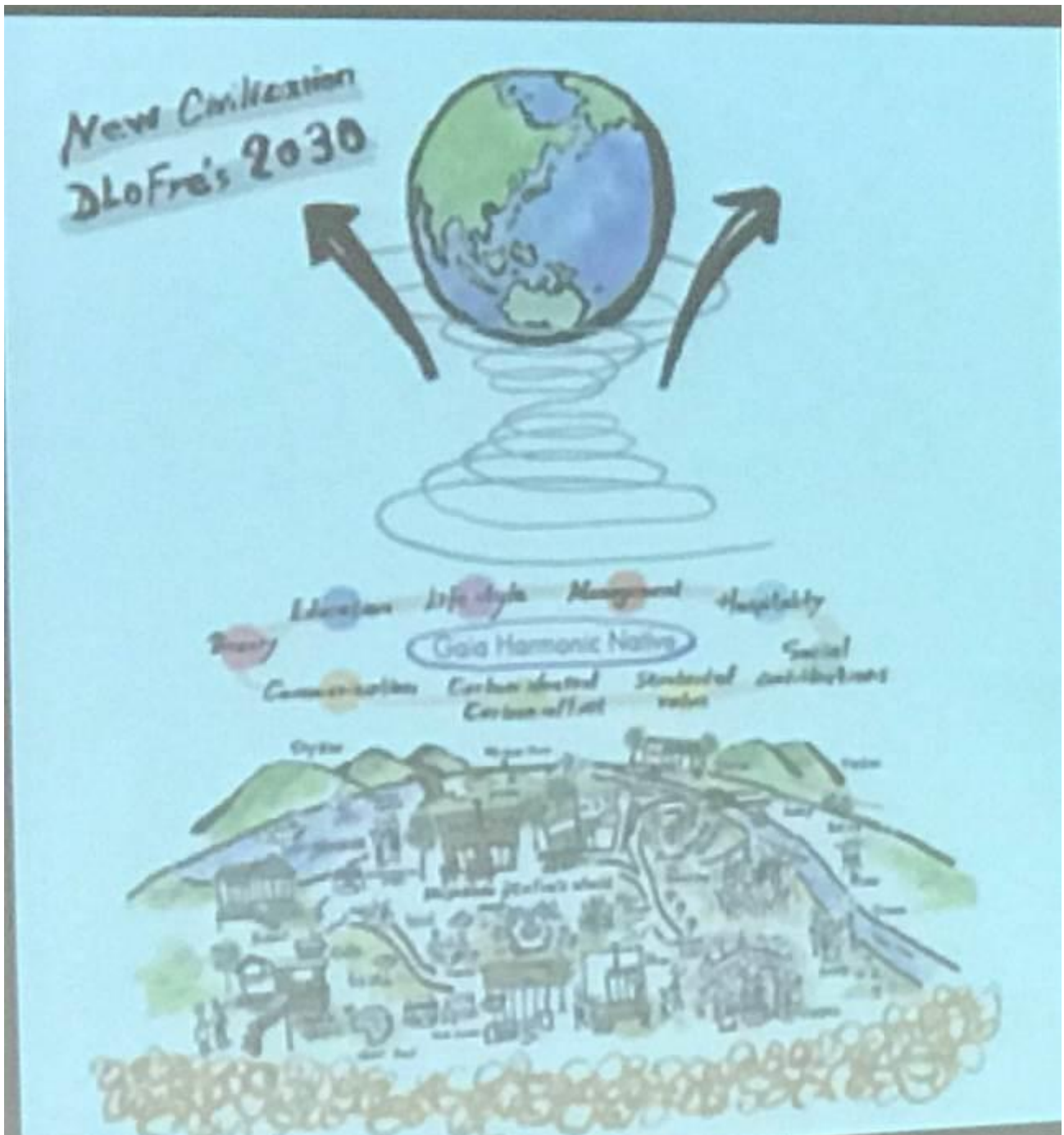
たった100名の社員だけど、そのベクトルが一つになったとき世界中から人々が集まってくる。
新しい世界観を発信していく。
無いものを創りだすよりも今あるものをリノベーションして新しいライフスタイルを生み出す。絞り出す。

社員の人格を上げていく。
回りのために行動している人に気づいたときに、それを伝えてあげようと社員に伝えています。
覚悟を決める大切さ。それが使命感。
文化的意識を高める。古民家や生け花、歴史から見る様々な文化に触れていく事で人格は上がる。

2030年までに地球をきれいにしていこう。プロジェクト！
出来ないことはない。

150年前に坂本龍馬が、「日本を丸ごと洗濯しよう」と江戸と長崎を30往復している。
それと比べると今の時代は、いっぱいチャンスがあると思います。
日本の浜松から実現したいと思います。

誇りになるとは、周りの人たちから思われること・・・
身の丈に合うことを考える。
うまくいっている時ほど、わきまえる。余りをつくる。
その余りを未来のために、地域社会のために使う。



懇親会





ウツディ事務局 向井健介